6 設置完了後の確認

■設置終了後、次の手順で確認をし、チェック欄に ✓ 印をしてください。

確認項目			チェック
外　観	トップフレームが浮いていないこと		
	トッププレート・トップフレームが汚れていないこと		
電気工事	電源電圧が単相100Vになっていること		
作　動	1 電源スイッチを入れる	➡ 電源ランプが点灯する	
	2 加熱切/入 を押し、作動を確認する ● 必ず水を入れ、IHに対応したなべを置く。(空だきしない) ※なべを置かないと「なべなし自動OFF」が働いて約1分後に自動的に通電を停止します。 ※ 揚げ物切/入 で操作した場合、次のようになることがありますが、異常ではありません。 ●なべが熱くなるまで時間がかかる ●「火力3と6」が交互に点滅し通電を停止する	➡ しばらくすると湯が沸く 表示の点滅は再度 揚げ物切/入 を押すと消えます。	

■電気試験後は
- **●必ず電源スイッチを「切」にしてください。**
- **●取扱説明書・設置説明書・保証書は、必ずお客様にお渡しください。**

設置完了確認者印	

製造元　パナソニック電工株式会社
パナソニック株式会社　IHクッキングヒータービジネスユニット
〒651-2271 神戸市西区高塚台1丁目5番1号

ZY16-814
S1008Y0

設置説明書

Panasonic®

IH クッキングヒーター(ビルトインタイプ)

品番 KZ-11BP(100V)

設置される方へのお願い

- ●本体設置時に、トッププレートを分解しないでください。
- ●キャビネットの下部にオーブンレンジを設置しないでください。
- ●試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。
- ●ガス機器から付け替える場合

  ガス事業者に連絡しないでガス工作物(ガス配管、ガスメーター、ガス栓など)を無断で撤去することは、法令により規制されています。

  事前にガス事業者へ連絡してください。また、閉栓はガス事業者に依頼してください。
- ●設置説明書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。

1 安全上のご注意 必ずお守りください (設置上のご注意)

設置の前に、よくお読みください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

●設置は、「設置説明書」に従って確実に行う
設置に不備があると、漏電・火災の原因。

●電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う
接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因。

●100V・15A以上の専用回路を設置する
他の機器と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱する原因。

分解禁止

絶対に分解・修理・改造は行わない
火災・感電・けがの原因。

トッププレートに衝撃を加えない

上に乗ったり、物を落とさない

万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因。
※トップフレームも変形させないように注意する。

接触禁止

試運転中は、トッププレートなど高温部に触れない
やけどの原因。

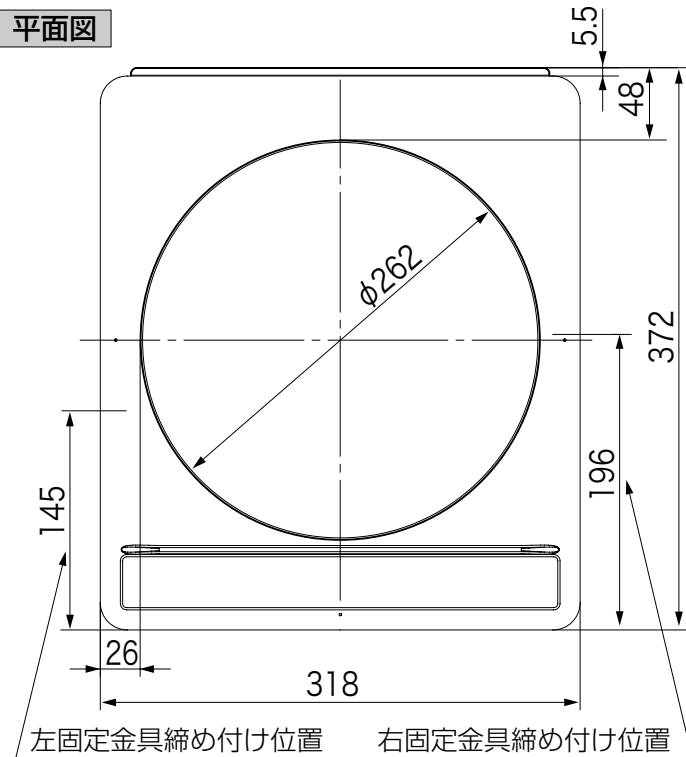
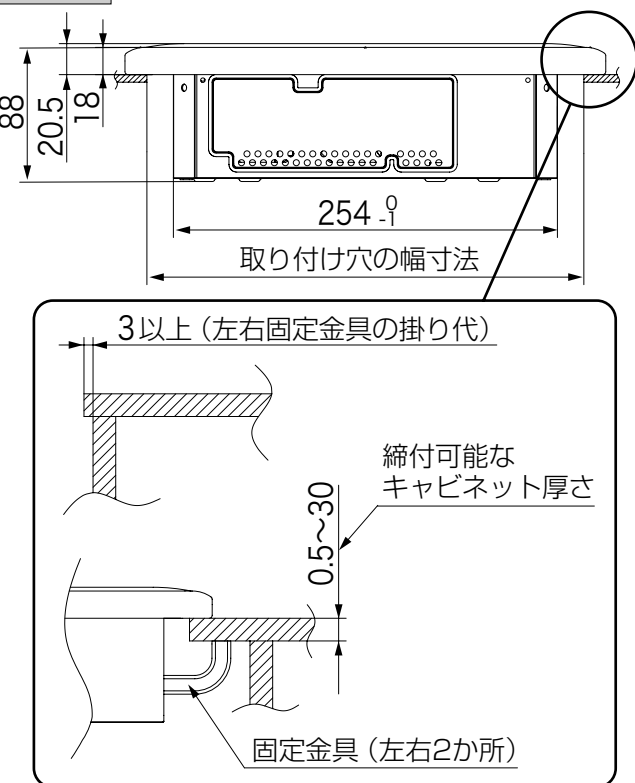
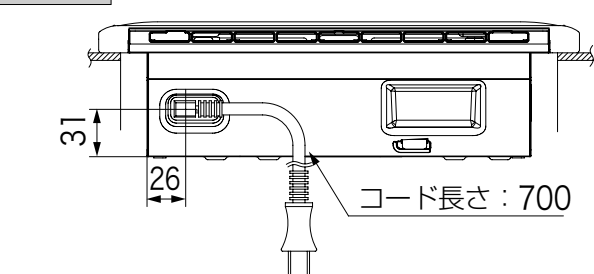
⚠注意

ワークトップは、耐熱材料を使う

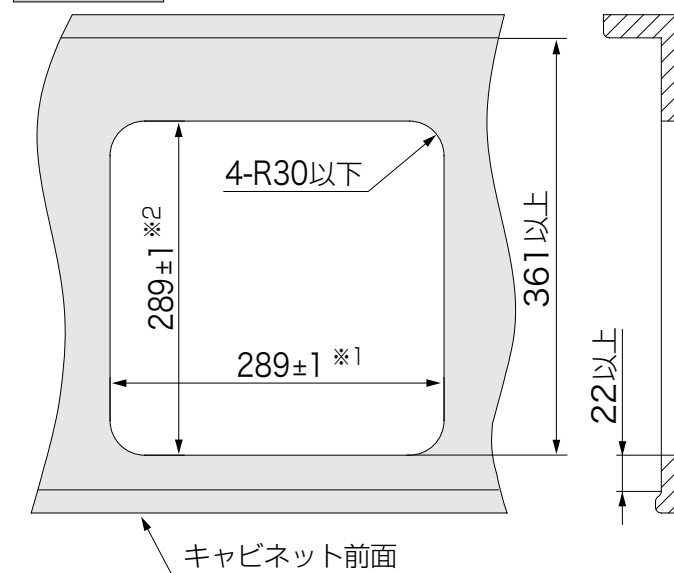
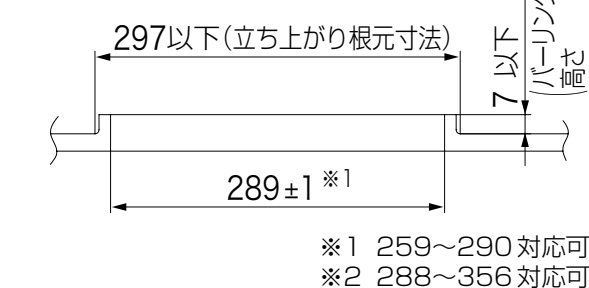
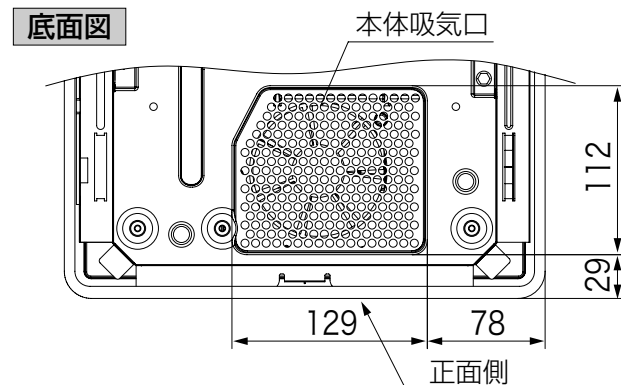
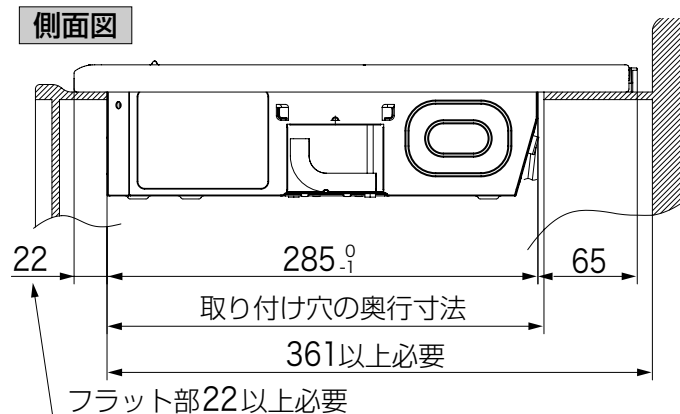
メラミン化粧板
(JIS K 6903)
またはこれと同等以上の物

耐熱性の低い材料は、火災・変形の原因。
※ニス引きのものは変色するため使わない。

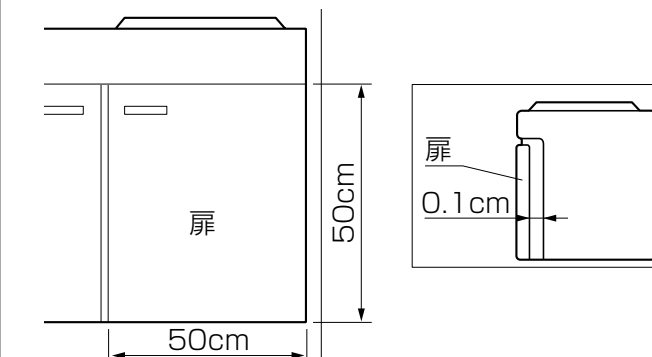
2 外形寸法図（単位：mm）

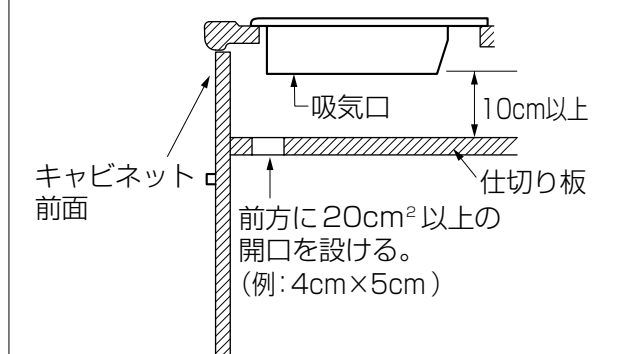
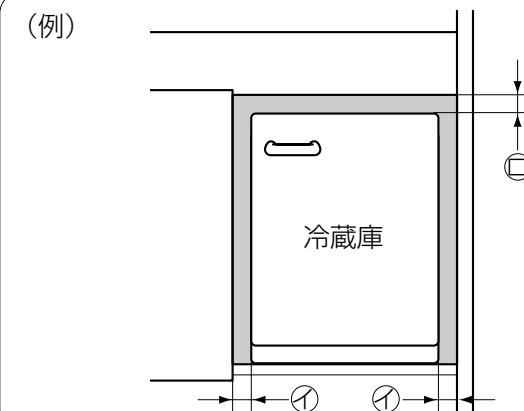
平面図

正面図

背面図

取り付け穴（ワークトップの開口寸法）

（バーリング加工ありの場合）

※1　259〜290対応可
※2　288〜356対応可

底面図

側面図

システムキッチンに組み込む場合

■吸気口に外気を取り入れるための開口面積を確保する（完全密閉を避ける）

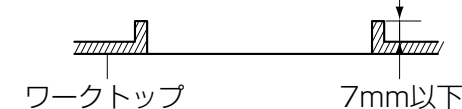
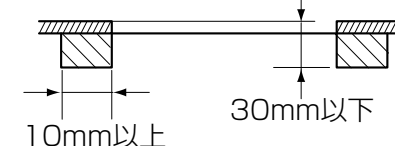
●扉タイプキッチンの場合

●上記開口面積が確保できない場合は、別に20cm²以上の開口穴を設けてください。

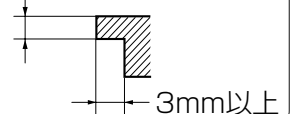
●側面・底面がふさがれるようなテーブルなどに落とし込む場合も、20cm²以上の開口を設けてください。

●冷蔵庫タイプキッチンの場合

	1ドアタイプ	2ドアタイプ
イ寸法	1cm	2cm
ロ寸法	1cm	2cm
本体底面と冷蔵庫上面との寸法	10cm	5cm

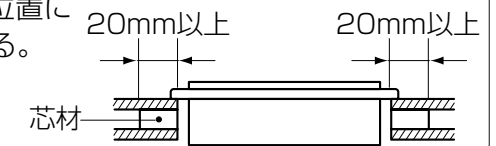
ワークトップについて

■充分な強度のワークトップを使う

●薄板（ステンレスなど）の場合

●外周にバーリング加工をして補強する場合は、高さを7mm以下にする。

●打ち抜き穴の場合は、裏打ちする。

●木材などの場合

●板厚30mm以下のものを使う。30mmを超える場合は、取り付け穴の周囲を30mm以下に加工する。

●フラッシュ構造（中空構造）の場合

●必ず、本体を受ける位置に芯材がくるようにする。

3 設置場所の確認

火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第59条に従って設置してください。

壁からの距離

■周囲が可燃性の壁（防火構造壁以外）の場合

●（　）内は不燃性の壁もしくは、防熱板を取り付けた場合

〔消防法 基準適合 組込形〕

■可燃性の壁から左記の距離を離せない場合

●本体の側面に取り付ける場合も、上記と同じ距離を設けてください。

●製品の金属部がキッチンの金属部に接触する場合は、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とキッチンの金属部が接触しないようにしてください。
（電気設備技術基準第167条で危害なきよう設置することが定められています。）

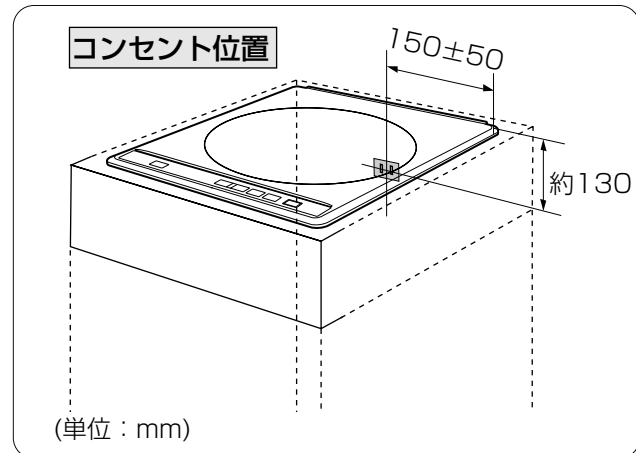
4 電気工事

専用回路の設置

■電源にブレーカー付きの専用回路を設置する

コンセントの設置

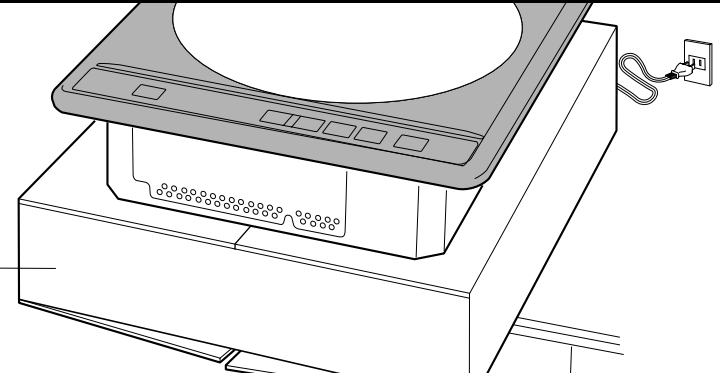
●**推奨コンセント**（パナソニック電工製）

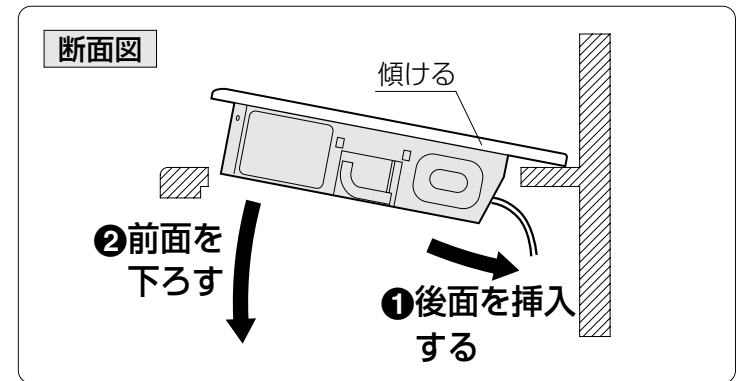
品　番		
	WKS317（露出型）	
	WKS111（露出型）	

●電源コードがよじれたり、負担がかからないようにコンセントの向きに注意してください。

5 本体の設置

トップブレートを分解しないでください。（接続線が外れて、故障します。）

1 電源プラグを差し込む

●ワークトップに傷を付けないように包装用の段ボール箱を敷く。

2 ワークトップに本体を傾けて挿入し全体をはめ込む

●本体をワークトップに当てない。
●本体とワークトップ開口の間に電源コードを挟まない。
（本体が浮いたり、電源コードが傷つく原因）
●フレーム下面とワークトップのすき間が、前後左右で均一であることを確認する。

3 本体の位置を調整する

●本体をワークトップ開口の前側に寄せる。

4 本体を固定金具（左右2か所）で固定する